

STOP!

冬季労働災害プロジェクト

転倒災害防止



交通事故防止



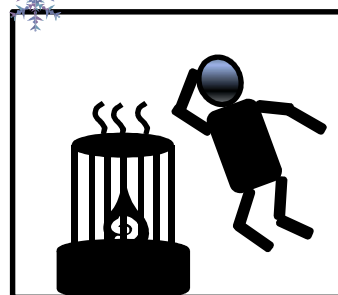
重機等による
災害防止



墜落・転落
災害防止



一酸化炭素
中毒災害防止





冬季転倒災害防止対策

※転倒対策

- ・事業場敷地内、駐車場、出入口、通勤経路の滑りやすい場所を確認し「危険マップ」を作成
- ・保温性が高く、滑りにくい靴（スパイク付長靴など）を使用
- ・小さな歩幅で靴の裏全体をつけてゆっくり歩く
- ・服のポケットに手を入れたまま歩かない
- ・凍結防止対策（融雪剤、砂の散布、ヒートマットの設置など）

※けが対策

- ・クッション性の高い衣服を着用
- ・転倒予防体操



～災害事例～

片付け作業中、事業場敷地内の地面が凍結していたため滑って転倒した

* TOPIC

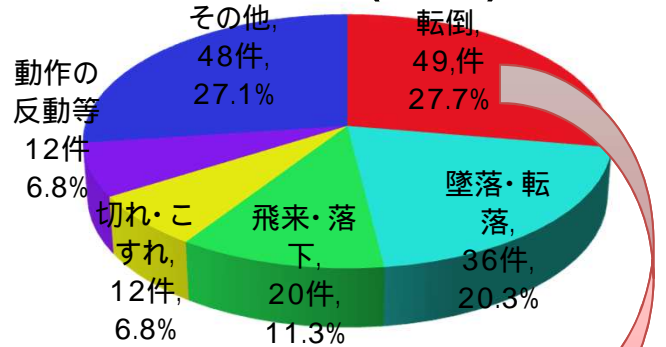
～冬季の転倒災害について～

平成29年に高山労働基準監督署管内で発生した休業4日以上労働災害(全177件)のうち、転倒による労働災害が最も多く、全体の27.7%を占める

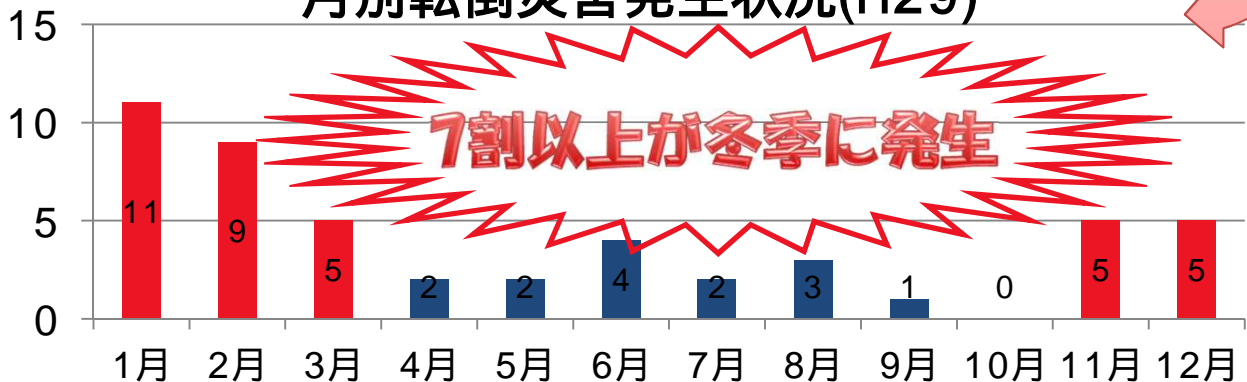
さらに転倒災害は、1月～3月、11月～12月の晩秋～春先の期間で1年間に発生する転倒災害の7割以上を占める

事故の型別労働災害

発生状況(H29) 全177件



月別転倒災害発生状況(H29)





交通事故防止対策

※ 運転準備

- ・ 冬用タイヤを着用、タイヤの摩耗を確認
- ・ 過去の災害事例を参考に「交通安全情報マップ」作成
- ・ 交通状況に応じた運転時間の確保

※ 安全運転

- ・ 法定速度遵守
(路面状況、天候に合わせた速度で運転)
- ・ 「急」のつく運転の禁止
- ・ 車間距離の確保
- ・ 雪道運転の危険予知
ex.) 路肩の除雪された雪の陰から歩行者が飛び出す可能性がある



~ 災害事例 ~

社用車で走行中、凍結により滑ってセンターラインをはみ出して対向車と正面衝突したほか、後続車に追突された



重機による災害防止対策

※ 視界確保

- ・ 作業開始前に、機械に付着した氷塊を除去
- ・ ワイパーの性能確認
- ・ ウィンドーガラスの熱線の性能確認

※ 接触防止

- ・ 危険箇所を区画
- ・ 視界不良時、運転者及び誘導者等の蛍光ベスト、ヘッドライトの着用
- ・ 作業位置、合図方法の確認

※ 転落防止

- ・ 誘導者を配置
- ・ 路肩の位置を示す標識の設置
- ・ 過去の雪崩発生の有無を確認



~ 災害事例 ~

トラクターショベルを用いて駐車場の除雪作業を行っていたところ、排雪のために開放していた柵の位置からトラクターショベルごと谷底へ転落した



墜落・転落災害防止対策

※ 屋根の除雪作業

- ・ 親綱等の安全帯取付設備を設置し、安全帯及びヘルメットを使用
- ・ 移動はしごの転移防止（脚部・上部固定、上端を60cm以上突き出す）
- ・ 雪を落とす場所の立入禁止
- ・ 除雪は屋根の上部から下部へ向かう
- ・ 2人以上での作業（監視人の設置）
- ・ 上下作業の禁止

※ 足場での作業

- ・ 作業開始前に足場板上の除雪
- ・ 手すり等の設置状況の確認



～災害事例～

屋根の除雪作業中に、天候が良くなってきたことから積雪が緩み、雪と一緒に転落した



一酸化炭素中毒災害防止対策

※ 作業準備

- ・ 十分な換気ができない箇所へ立ち入る際の適切な呼吸用保護具(エアライン式呼吸用保護具等)の選定、使用
- ・ 一酸化炭素中毒の危険性、緊急時の対応についての教育

※ 作業環境管理

- ・ 換気の悪い場所でのエンジン及び練炭等の使用禁止
- ・ やむを得ず使用する場合は、十分な換気の実施
- ・ 屋内のエンジン、練炭等を使用している箇所に立ち入るときは、一酸化炭素濃度を測定
- ・ 一酸化炭素濃度測定、十分な換気を行っていない上記作業場所への立入禁止



～災害事例～

狭い給湯室内で、換気扇を回さず瞬間湯沸かし器でお湯を沸かしていたところ、機器の不完全燃焼により体調不良となった

- ・ 湯沸かし器や燃焼式の暖房器具を使用する場合の換気の励行